

新年あけましておめでとう
今年も職員一同その職務に邁進していく所存です。
さて、二戸病院はカシオペア連邦(二戸地域)全体の広域中核病院として機能していかねばなりません。そのためには、いろいろな行動をしていきます。
まず、現在の一番の悩みは自治体病院の勤務医不足です。当院もまだ医師が足りません。それに関連して、当院では昨年から新臨床研修制度の研究指定病院として研修医を確保し、臨床研修活動を本格化しました。また二戸高等看護学院の看護学生の實習病院でもあり、医師の看護師の研修は、看護士協会の皆様のご理解とご協力、ご支援をお願いいたします。

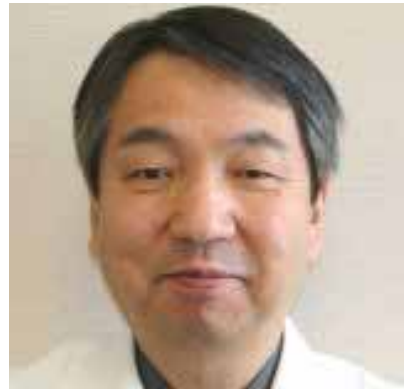
「二戸病院は今」

病院長 新年挨拶

佐藤 元昭



という外部第三者を評価するた
め、現在病院全体の審査を受け
る予定ですが、そのための改善
め、いろいろな事を見直し、改
し、より良い病院を目指して
し、管理と床ずれの防止(栄養
活動)は、昨年十一月に医療
に医療局県営医療貢献賞を受
賞しました。また、救急医療係
科が患者さんのご理解と承
承諾を得て、二戸消防署
救急救命士の気管内挿管
実習を行う予定です。この
れにより重症救急患者の
救命率のアップが期待されま
す。
三つめは地域の診療所
病院、医師会との連携を
密にすることで、安心と安全を
確保するよう活動して
います。近隣の病院への
診療応援は、県立病院の中
ではトップクラスです。
その紹介が円滑にいくよう
の紹介が円滑にいくよう
に二戸地域診療機能強化



推進事業を、行ってまい
す。かかりつけ医療所を
充実し、病院と診療所が
その役割をうまく発揮し
る。患者さんにとって
よいうにしたいです。ご利
用下さい。
最後にになりましたが、
二戸病院は患者さん、住
民の皆様のための病院で
あるという事は、論をま
ちません。同時に患者さん
の病院であると思ってい
ます。皆様の意見、批判
提言はとて、昨年春から
そのため、昨年春からは
一番目立つ正面玄関に「
ご意見・苦情・提言等」
のコーナーを設置しまし
た。投書には原則すべて
に迅速に回答します。
かところ、匿名ですと細
かいたところ、微妙な点

【日時】
平成十八年三月一日(水)
午後二時～三時
【場所】
二戸市シビックセンター
一階ホール
【入場料】
どなたも無料です。

では行き届かないところ
もあり、直接言っ
ていただくか、住所電
話番号、お名前がわか
るようですと、直に話し
承ったり、連絡して詳し
く説明ができます。実際
のところ、誤解、思い違
い、又聞きによる曲解と
いった投書も結構ありま
す。ただ、なるほど、患
者さんはそのように受け
取ったり、感じたりして
いるのだなという事を
理解して、勉強してい
ます。今後ともよろしく
お願いいたします。

岩手県立二戸病院「基本理念」

- 1 信頼と満足が得られる患者中心の医療の提供
- 2 診療機能の充実を図り、地域医療・福祉・保健機関との連携
- 3 療養環境の充実した快適な病院づくり

図書室からのお知らせ

院内の2階エレベーターの横に図書室があります。患者様等に下記の時間帯に開館しています。お気軽にご利用ください。なお、患者様等からの図書の寄付も受付しています。詳しくは図書室の係員に問いあわせください。



* 図書室開放時間
月～金曜日
午前 9時～12時
午後 1時～4時

ボランティア紹介

二戸病院では、ボランティアの皆さんの協力により、正面ホールで受付等の案内を行っております。自動受付機や自動入金機の操作方法で、ご不明な点がございましたら、声をおかけください。操作方法を説明いたします。

また、ボランティア活動でご意見ご要望等ございましたら、下記へご連絡ください。

県立二戸病院 事務局 医事課
担当 高橋
電話0195-23-2191 内線5007

医療相談室のご案内

当院の1階総合受付のとなりに医療相談室があります。医療費の会計、各種医療制度の手続き方法などの相談を受けています。相談に対しての費用はかかりません。専門のケースワーカーが対応します。医療制度の手続きや医療費等でお悩みの患者様、またそのご家族の方、お気軽にご相談ください。

また、入院中で動けない患者様は、担当の看護師にお申し出ください。病室までケースワーカーが伺います。

医療相談室 総合受付 薬局

1階総合受付のとなりの部屋です。

病院内の禁煙にご協力ください

健康増進法で定めている「受動喫煙の防止」の趣旨に基づき、二戸病院では院内(建物内)を全面禁煙としています。これに伴い、1月15日より正面玄関横の灰皿も撤去します。敷地内(建物の外)で煙草をお吸いになる場合には、各自携帯灰皿等をご用意いただき、他の患者様の迷惑とならない場所で喫煙されるようご協力願います。

診療案内

診察受付時間
初めて受診される方
総合受付においでください。
受付時間 午前8時30分～午前11時30分まで

再来(予約の方も含まれます)受診される方
再来受付機をご利用ください。
再来受付機稼動時間
午前 6時30分～11時30分
午後 1時30分～4時
(再来受付機稼動時間外の午前11時30分～午後1時30分に予約の方は、各受付の係員に診察券を出し受付願います。)

急患の方
平日午前8時30分～午後5時15分までは、総合受付においでください。
平日午後5時15分～翌日午前8時30分と病院が休みの日は、救急受付においでください。

診療科案内
「 」印は初診、再来(予約含む)の診察です。
「 / 」印は予約の再来のみの診察です。
「 / 」印は休診です。

診療科		月	火	水	木	金
神経内科	午前					
	午後					
呼吸器科	午前					
	午後	/	/	/	/	/
内科・消化器科	午前					
	午後					
循環器科	午前					
	午後					
小児科	午前					
	午後					
外科	午前					
	午後					
整形外科	午前					
	午後					
脳神経外科	午前					
	午後					
皮膚科	午前					
	午後	/	/	/	/	/
泌尿器科	午前					
	午後					
産婦人科	午前					
	午後					
眼科	午前					
	午後					
耳鼻咽喉科	午前					
	午後	/	/	/	/	/
放射線科	午前					
	午後					
血液内科	午前					
	午後					
精神科	午前	/	/	/	/	/
	午後	/	/	/	/	/
心臓血管外科	午前	/	/	/	/	/
	午後	/	/	/	/	/
呼吸器外科	午前	/	/	/	/	/
	午後	/	/	/	/	/
麻酔科	午前					
	午後					



脳神経外科とは
なにをみるの？
脳神経外科とは脳や脊髄、いわゆる中枢神経系の外科的治療（手術を中心とした治療）を中心に行う科で、内科的な疾患を中心に行う治療するのは神経内科です。具体的には、脳卒中（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等）、頭部外傷（頭のけが）、脳腫瘍（脳を中心とした出来物）、先天性（先天性水頭症、脊椎破裂等）感染症（脳に膿がたまる脳膿瘍など）、機能的な外科（顔面痙攣、三叉神経痛など）の外科治療を中心に行います。

よく行う検査は？
一番基本になるのは神経学的検査と呼ばれるものです。これは脳の働きをみるために、目の動きや視力、視野をみたり耳の働きや手足の動き、感覚の変化をみたりして評価し、どこがおかしいか、何ともないかを判断し、次に行うべき検査が決まります。次に行うものとして、頭部単純撮影（頭の骨の写真）、CT（X線を使ったコンピュータ断層撮影）、MRI（磁石を使った画像）、脳血管撮影（脳の血管の撮影）等々です。

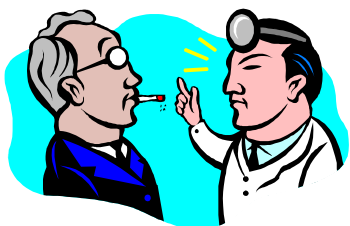
脳卒中の話
脳卒中は別名、脳血管障害と呼ばれ、脳の血管の障害で起こります。脳の血管が詰まったり破れたりすることで、発症します。

血管が詰まるものは脳梗塞と呼ばれ、動脈硬化がもとになり徐々に血管がふさがっていき、心臓から血栓（血の塊）などが飛んできて血管に詰まるために起こる場合などがあります。どちらも結果的に血管が詰まる事は同じですが、それぞれ治療法が異なるため、出来るだけ早く専門医に診察・治療して貰うことが必要で、これは治療するタイミング上、出来るだけ早いほうが良いです。

血管が破れるものは、脳の中へ出血する脳出血と脳の表面へ出血するくも膜下出血があります。脳出血は、高血圧や動脈硬化をもとにして、脳の中の細い血管が破れ脳の中に血の塊を作っていくもので、そのために脳が壊され、命が助かっても後遺症を残すことが多いです。脳梗塞、脳出血共に生活習慣が大きくな因子で、高血圧はどちらにもつても危険因子であり、血圧をコントロールして予防していくことが大切です。血圧以外にも糖尿病、高脂血症、不整脈等々が危険因子です。それとは別に

薬の豆知識

第1回 『たばことくすりの関係』



近年、健康を気にする方が増え、禁煙への関心が高まりつつあります。喫煙は、健康に影響を与えているのみならず、薬にも影響があることをご存知でしょうか。ご自分で飲んでいるお薬の中にお薬は含まれていませんか？ たばこを吸うことにより、薬の作用を強めてしまったり、逆に弱めてしまったり、副作用が現れやすくなることがあるのです。

作用を弱めてしまう代表として、糖尿病の治療薬であるインスリンが挙げられます。たばこを吸っている患者様には、非喫煙者の方に比べて、通常15%、20%程度インスリンを増量しなければならぬと言われています。

同じように、心臓の病気や高血圧の治療薬であるプロツカールと呼ばれる薬の中には、たばこにより効果が邪魔されてしまうものがあります。

不整脈の薬も同様です。もとたばこに含まれるニコチンが原因にもなることがあり、不整脈の方は、禁煙を勧められることも多いのではないのでしょうか。また、女性の、特に若年層での喫煙も近年増加傾向にあります。お薬の作用を低下させたり、副作用を強める可能性があまりあります。血栓（血のかたまり）のようなもの（血栓）ができて、呼吸器の病気の治療薬の中にも、効果が弱められてしまうものがあります。そもそも、たばこの煙に含まれる一酸化炭素には、酸素の運搬能力を低下させてしまうことがわかっていますので、喘息や気管支が弱い方は特に注意が必要なのです。



薬の全てに影響があるわけではなく、もちろん程度はありますが、たばこを吸っているか、これからの禁煙する予定がある、など、細かい事と思わずにぜひ教えてくださるようお願いいたします。

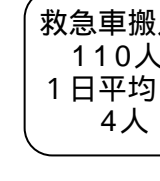


二戸病院 11月の患者数

診療科	入院患者数	外来患者数	1日平均入院患者	1日平均外来患者	常勤医師数	医師1人入院患者	医師1人外来患者
血液内科	306	241	10	12	1	10	12
精神科		164	0	33	1	0	33
小児科	323	1,944	11	97	2	6	49
呼吸器科		499	0	38	1	0	38
消化器科	1,443	2,545	48	127	4	12	32
循環器科	1,018	1,826	34	91	3	11	30
外科	1,004	1,175	33	59	4	8	15
神経内科	853	1,157	28	58	3	9	19
整形外科	555	1,600	19	80	1	19	80
脳神経外科	790	774	26	39	3	9	13
皮膚科		478	0	60	1	0	60
泌尿器科	238	501	8	25	1	8	25
産婦人科	550	1,048	18	52	2	9	26
眼科	197	1,933	7	97	1	7	97
耳鼻咽喉科		478	0	40	1	0	40
放射線科	16	118	1	6	1	1	6
合計	7,293	16,481	243	824	30	8	27



救急患者数
914人
1日平均
30人



救急車搬入
110人
1日平均
4人



手術件数
183人
1日平均
6人

二戸病院の平成17年11月の患者数は上記のとおりです。診療科の常勤の医師1人当たりが1日で診察する患者様の人数は、外来で平均27人、入院で平均8人となっています。診療科の医師は主に午前中は外来診療、午後は入院患者様の回診や検査、手術などを行っています。外来診療に関しましては、患者様お1人の診察時間を約15分としても、1日約6時間45分の診察時間が必要となります。これでは、外来の診察の待ち時間が、とても長くなってしまいます。当院では、常勤の医師の他に応援の医師による診療、時間予約の推進により、患者様の待ち時間解消に努めていますが、救急車搬送等による急患対応などで、外来診療が予約時間どおりとならなったり、待ち時間が長引く場合がございます。予めご了承のうえ、患者様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

くも膜下出血は、脳の表面の太い動脈に出来た血管の瘤（動脈瘤）の破裂により起こることが多く、瘤は生まれながら持っているか出来やすいところがあり徐々に出来てくるかして早い時期にみられるため、若い年代や働き盛りの年代に発症する事が多く、予防するためには、いかにそれを早く見つけるかが重要で、破裂を確実に予防するには内科的な方法はなく、なんらかの外科的治療が、必要になります。

「脳ドック」のお知らせ
平成17年7月から二戸病院で「脳ドック」を始めました。前に書いた神経学をはじめ簡易知能検査、血液検査、心電図、MRI等を行い、現在の脳の血管の状態、機能の状態等を評価します。詳しくは総合受付でおたずねください。

かぜ症候群の食事療法

温かくして、休養をとり、栄養と水分にご注意
かぜの予防と治療に
規則正しい食事と休息を
寝不足・過労・栄養不足・生活リズムの乱れがストレスになつて、気が付いた時には・・・
「ハ、ハ、ハークション！」
食事・睡眠・仕事といった毎日の生活リズムをなるべく規則正しく守ることが、かぜの予防につながります。また、貧血の女性には、かぜをひきやすいので注意。

温かくして早めに「おやすみ」
消化がよく、水分の多いメニューをかぜのひき始めに、卵酒を飲んで休む等の習慣は、なかなか得た方法。
かぜをひいたら、消化がよく水分が多く、温かい食品をとることがおすすめです。
温かく水分の多い食品を番茶・温かいレモンティー・葛湯・粥・スープ・牛乳・パンかゆなどが、かぜをひいた時おすす。発汗を促し、失われた水分を補給し、痰を切る効果があります。
ビタミンを補給
熱が高く、ほてる時には、冷たい果汁などを少しづつのも効果的。発汗で失われたビタミンを補給します。
食べたい時に食べたいものをかぜの時は、下痢や嘔吐を起しやすくなるので、食事は無理にとるより、食べたいものを食べたいようにします。

